

1 単元名 PROGRAM 8 The Year-End Events (SUNSHINE ENGLISH COURSE 1)

2 本単元で扱う領域における「CAN-DO リスト形式」による学習到達目標(第1学年)

聞くこと	読むこと	話すこと [やり取り]	話すこと [発表]	書くこと
・はっきりと話されれば、自分のことや身近な学校生活などについて、必要な情報を聞き取ることができる。 ・はっきりと話されれば、インタビューなどについて、話の概要を捉えることができる。 ・はっきりと話されれば、国際協力などについて、短い説明の要点を捉えることができる。	・学校での予定などについて、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができる。 ・ALT が旅行中に体験したことなどについて、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができる。 ・平和問題などについて、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができる。	・学校行事や日常の出来事などについて、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができる。 ・生徒自身や家族に関することなどについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり相手からの質問に答えたりすることができる。 ・人権問題などに関して、聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができる。	・学校行事や日常の出来事などについて、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができる。 ・生徒自身や家族に関することなどについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができる。 ・人権問題などに関して、聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて話すことができる。	・学校行事や日常の出来事などについて、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができる。 ・生徒自身や家族に関することなどについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文書を書くことができる。 ・自然環境や世界情勢などに関して、聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができる。

3 単元における指導構想

○教材観

本単元では、年末の大掃除やおせち料理作りといった、日本の年末年始に関する家庭生活の場面が取り上げられている。日本で暮らす海外の人々が、日本の文化を自分たちの生活の中に取り入れ、慣れ親しもうとしている姿から、異国の文化や人々を理解し、尊重することの大切さを学ぶという内容となっている。

言語材料としては、現在進行形の肯定文・否定文・疑問文とその応答が取り扱われている。これらの表現を使うことで、自分たちや学校のことをよく知らない ALT に自分たちの学校での姿を知ってもらうために必要な、自分や他の人の状況をよりの確に伝える力を身に付けることができると考えられる。

○生徒観

本学級の生徒は皆明るく、英語のみならず、すべての授業において積極的に発言や発表をすることができる。音読練習にも意欲的に取り組み、ペアワークなどでの対話練習においても、ほとんどの生徒が間違いを恐れることなく励んでいる。しかし、全体的に意欲はあるものの、英語が苦手な生徒も少なくなく、「なんとなく」で話したり、読み書きしたりする生徒が多いのが現状である。これらの状況から、本単元では、帯活動で実施している Small Talk を有効に活用し、即興で伝え合う活動等を生徒たちの慣れ親しんだ表現を用いて積み重ねることで、語彙力や表現力の向上を図りたい。また、生徒の意欲を大事にした授業を意識し、実際に海外の人と話す機会においても自信をもってコミュニケーションを図ることのできる生徒を育てたい。

○指導観

本単元では、エミリーの家族が年末の大掃除やおせち料理作りに挑戦している様子が描かれており、エミリー一家のやり取りから、現在の状況を伝え合う表現を知ることができる。また、既習事項の現在形に加えて、現

在進行形を習得することで、自分や他の人の動作や状況について、より正確で詳しい説明が可能となる。これを踏まえ、言語活動として、自分や友だち、また、絵に描かれた様々な人物の様子について、ペアやグループで正確に伝え合う活動を行い、「話すこと [やり取り]」に焦点を当てた指導を行う。

単元終末の言語活動としては、2学期に新たに赴任してきた ALT に、自分たちや学校のことをよりよく知ってもらうために、写真や動画を提示しながら、自分たちの学校での姿を簡単な語句や文を用いて伝えたり相手からの質問に答えたりする活動を行う。様々な状況説明を積み重ねることにより、表現の幅を広げ、状況を正しく伝える力を養いたい。また、タブレット等の ICT 機器を効果的に授業に取り入れることで、生徒の学習に対する興味や関心を引き出し、全員が積極的に活動に取り組める指導を心掛けたい。

4 単元の目標

新たに赴任してきた ALT に自分たちや学校のことをよりよく知ってもらうために、写真や動画を用いて、自分たちの学校での姿について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。

5 単元の評価規準（「話すこと [やり取り]」の評価規準）

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと [やり取り]	〈知識〉 現在進行形の意味や働きを理解している。 〈技能〉 自分たちの学校での姿について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、現在進行形などの簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりする技能を身に付けている。	新たに赴任してきた ALT に自分たちや学校のことをよりよく知ってもらうために、自分たちの学校での姿について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。	新たに赴任してきた ALT に自分たちや学校のことをよりよく知ってもらうために、自分たちの学校での姿について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり相手からの質問に答えたりしようとしている。

6 指導と評価の計画（6時間）

時間	ねらい (■), 言語活動等 (丸数字)	評価			備考
		知	思	態	
1	■ 単元の目標を理解する。 ■ 登場人物のやり取りから、現在進行形（肯定・否定）の意味や働きを理解する。 ■ 登場人物や友だちが今していることについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、伝え合う。 ① ペアで Small Talk を行う。（帯活動） ② グループでそら描きクイズを行い、自分や友だちがしている動作を伝え合う。				
2	■ 登場人物のやり取りから、現在進行形（疑問）の意味や働きを理解する。 ■ 登場人物が今していることについて、たずねたり答えたりする。 ① ペアで Small Talk を行う。（帯活動） ② ペアでジェスチャークイズを行い、自分や友だちがしている				

記録に残す評価は行わないが、ねらいに即して生徒の活動状況を見届けて指導に生かす。

7 本 時

(1) 目 標

絵に描かれた人物が何をしているか相手にわかってもらえるように、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりする。

(2) 展 開

時間	学習活動	指導上の留意点	評価の場面	評価方法
3分	1 挨拶をする。	○ 英語の学習をする雰囲気をつくる。		
6分	2 Small Talk を行う。	○ 言いたくても言えなかった表現などについて確認する。		
3分	3 本時の目標を知る。	絵に描かれた人物が何をしているか相手にわかってもらえるように、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、伝えたり、質問に答えたりしよう。		
20分	4 ペアでインフォメーションギャップを用いた活動を行う。	○ 活動を通して、現在進行形を使用する状況であることを、生徒自身に気付かせる。 ○ 中間指導を行い、現在進行形の用法を確認する。 ○ できるだけ多くの友だちと対話するよう促す。 ○ 机間指導を通して、支援が必要な生徒には適宜助言を行う。	記録に残す評価は行わないが、ねらいに即して生徒の活動状況を見届けて指導に生かす。	
15分	5 インフォメーションギャップで使った現在進行形を用いて、全体でやり取りをし、4の活動の答え合わせをする。	○ 支援が必要な生徒には適宜助言を行う。		
3分	6 本時の振り返りをし、挨拶をする。	○ 振り返りシートに本時の振り返りを記入させる。 ○ 生徒の良かった点を伝える。		

(3) 評価及び指導の例（「話すこと [やり取り]」）

「十分満足できる」と判断される状況(a)	既習事項や活動を通して学んだ語句や表現を積極的に活用し、絵に描かれた人物について、できるだけ詳しく表現するなど、工夫して伝え合おうとしている。
「おおむね満足できる」状況(b)を実現するための具体的な指導	ペアやグループ活動の機会を多く設け、繰り返し対話練習を行うことにより、自分や他の人の様子について、簡単な語句や文を用いて表現することができるよう支援する。
「努力を要する」状況(c)と判断した生徒への事後指導	自分や他の人の様子について、簡単な語句や文を用いて表現することができるよう個別支援を行い、単元終了後もペアやグループ活動等を通して表現を繰り返し練習させることで、「おおむね満足できる」(b)を達成できるようにする。

	動作について、たずねたり答えたりする。				
3 ～ 4	■ 教科書本文の、年末年始についての会話文を読んで、概要や要点を捉え、本文を引用するなどしながら、考えたことや感じたことなどを伝え合う。 ① ペアで Small Talk を行う。(帯活動) ② 本文に関する Q & A をする。 ③ ペアで本文の内容について、考えたことや感じたことなどを整理し、伝え合う。	生徒の活動状況を見届けて指導に生かす。 記録に残す評価は行わないが、ねらいに即して			・第1, 2時の学習の振り返りは適宜行わせる。
5 本時	■ 絵に描かれた人物が何をしているか相手にわかってもらえるように、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりする。 ① インフォメーションギャップを用いた活動を行い、絵に描かれた人物について説明する。 ② ①の活動で用いた表現を全体で共有する。				
6	■ 2学期に新たに赴任してきた ALT に自分たちのことをよりよく知ってもらうために、写真や動画を用いて、自分たちの学校での姿を簡単な文を用いて伝えたり相手からの質問に答えたりする。 ① ペアで互いの学校での姿を写真や動画に撮り、ALT に伝えるつもりでやり取りする。 ② 写真や動画を提示しながら、ALT に自分たちの学校での姿を伝え、ALT から感想や質問を聞き、やり取りする。	○	○	○	〈活動観察〉
後日	パフォーマンステスト	○	○	○	・複数単元終了後実施